

市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針

教科	音楽科	学年	1年
----	-----	----	----

1. 学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1学期	【歌唱】 ・夢の世界を ・校歌 ・赤とんぼ 【創作】 ・My Melody 【鑑賞】 ・ジョーズ ・春	【歌唱】 発声法や体の使い方を理解する。日本語の歌詞と旋律の動きとの関わりを理解し、情景を思い浮かべながら、表現を工夫する。 【創作】 4分の4拍子で簡単なリズムを作り、模倣したり反復したりしながらリズム作りに親しむ。まとまりのある曲にするための表現方法を学習する。 【鑑賞】 直感を言葉で表現し、自分の考えを具体的なものにす。音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて鑑賞する。
2学期	【歌唱】 ・クラス合唱曲 ・学年合唱曲 【鑑賞】 ・魔王 【器楽】 ・クラシックギター	【歌唱】 さざなみ祭にむけて合唱作り、声づくりをする。曲にこめられた想いを感じ取り、詩と音楽との関わりを学習して、クラスが一体となった合唱を作る。 【鑑賞】 物語や登場人物の心情と音楽との関わりを感じ取る。 【器楽】 クラシックギターの基本的な奏法を理解し、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。
3学期	【歌唱】 ・学年合唱曲 【鑑賞】 ・民謡音楽 【器楽】 ・箏	【歌唱】 一年間の集大成として、歌唱の技術だけでなく、情操をに富んだ音楽表現を目指し、仲間と気持ちを合わせて音楽活動を楽しむ。 【鑑賞】 生活や社会における音楽の意味や役割を自分なりに考えながら、日本の民謡のよさや美しさを味わって鑑賞する。 【器楽】 箏の歴史や文化を学び、箏に親しむ。箏曲「さくらさくら」の演奏から、さまざまな奏法を理解する。

3. 評価

(1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の内容をどれだけ理解しているか。 ・曲想と音や音楽の特徴と関わらせて理解しているか。 ・正しい音程、リズムで音楽表現ができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記テスト(知識の定着を見ます) ・実技テスト(技能の能力を見ます) ・ワーク等の提出物
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい表現をどう工夫したらよいか思いや意図をもっているか。 ・リズムや旋律、強弱などを知覚・感受しながらどのように音楽を創作するか思いや意図をもっているか。 ・音楽を根拠をもって評価しながらよさや美しさを味わって聴いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク等の提出物 ・楽譜への書き込み
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返り、反省点や目標を見出すことができるか。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に学習に取り組んでいるか。 ・意欲的に歌おうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・プリント等の提出物の取り組み ・振り返りシートへの記入

(2) 観点と評価の関係

			評定
A	A	A	5
A	A	B	4
A	B	B	3
A	A	C	
A	B	C	
B	B	B	
B	B	C	
A	C	C	2
B	C	C	
C	C	C	1

<評価の注意事項>

音楽では、授業への取り組み、ワーク等の提出物の取り組み、実技テスト、筆記テスト、毎時間の学習を振り返る振り返りシートへの記述から評価します。得意不得意にかかわらず、意欲的に学習に取り組みましょう。

4. 教科に関するアドバイス

音楽は、みなさんの気持ちが表れる教科です。ぜひ、思いっきり音楽を楽しみましょう。ただし、メリハリも大切です。活動の時間、話を聞く時間、切り替えをしっかりと授業に取り組みましょう。音楽は人を勇気づけたり、音楽を通して世界中の人とつながったりするとても素晴らしい力をもっています。また、仲間とともに作り上げる合唱、演奏はとても感動的です。豊かな心を持ち、音楽を通して感動体験をしましょう。

基本的に週一回の授業なので、授業準備、授業に取り組む姿勢、提出物など全てにおいて評価に大きく関わります。前時の授業に欠席した場合は、教科担当からも声をかけますが、プリントをもらいに来たり、テストの再受験日を確認したりするなど、学習の遅れをとらないように必ず自分から行動しましょう。